

第21回 協働実践研究会

日時 2026年02月19日(木)

時間 13:00~17:30 (受付は、12:30より開始)

場所 麗澤大学 新宿キャンパス (参加費無料)

プログラム

12:30~13:00 : 受付

13:00~13:10 : 開会式

■【口頭発表】

13:10~13:40 : 「聴くこと」は学習活動への参加にどのような影響を与えるか？

— 話すことに不安をもつ学習者の事例から —

ファム トュアンチン (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)

13:40~14:10 : 読者反応理論から見る日本語多読の可能性

— 入門レベル学習者のブックトークの分析から —

ドー・ビツ・ゴック (九州大学)

14:10~14:20 : 休憩

14:20~14:50 : 母語支援員は自身の経験を外国人児童生徒に対する支援実践にどのように結びつけているか

— 1名の母語支援員のライフストーリー分析を通して —

呉 静妍 (ゴ セイケン) (昭和女子大学大学院科目等履修生)

14:50~15:20 : 発話機能からみたピア・レスポンスの相互作用—日本語学習者間の日本語能力及び

アカデミック・ジャパニーズに関する知識や学習経験の差に着目して—

金 孝柱 (キム ヒョジュ) (昭和女子大学大学院研究生)

15:20~15:30 : 休憩

■【ポスター発表】

15:30~16:30 : ① 協働学習の授業における「グループ内発話」から「クラス発話」への移行に関する考察

— バフチンの対話理論を手がかりに —

陳 嵩杰 (チン スウケツ) (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

② オリジナルケースを用いたケース学習の実践

— 大学の共修学習のための教材化を目指して —

多田 苗美 (タダ ナミ) (昭和女子大学)

③ 「母語話者日本語教師」と「非母語話者日本語教師」による「対話の実践」の意義と課題

— 中国の中等教育機関に従事した教師による語りの分析に基づいて —

岩崎 みなみ (イワサキ ミナミ) (早稲田大学)

④ 非漢字圏日本語学習者を対象とした漢字学習支援

— 協働実践を通して —

ドナルドソン アナリン (昭和女子大学大学院生)

16:30~16:40 : 休憩

■【交流セッション】

16:40~17:30 : 大学院生交流会

ご希望の方は、会場にて研究交流会を行います。ぜひご参加ください。

アクセス

〒163-1304 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー4階4104号室
東京メトロ・丸の内線: 「西新宿駅」より徒歩30秒 (駅直結)、都営大江戸線:
「都庁前駅」より徒歩5分、JR: 「新宿駅」西口より徒歩15分

問い合わせ: kyodo.jissen.kenkyukai@gmail.com

アクセス

